

# 法改正「振興にかじ」

## 金澤農水省 市場室長 質的向上への助成強調

### 生鮮流通フォーラム

農水省食料産業局食品流通課の金澤正尚卸売市場室長は8月27日、パ  
ーショナル情報システム(東京都港区)が開いたウェブセミナー「第33回  
全国生鮮流通フォーラム」で「改正卸売市場法の施行と今後の食品流通  
の合理化の推進について」と題し講演した。金澤室長は法改正について  
「規律から振興にかじを切った」と解説し、食品流通の合理化が待った  
なしの状況であることを踏まえ、「(取扱)数量の増加より、質的に向  
上を期待している」と述べた。

6月に施行された改正「あることから」設備が  
市場法。金澤室長は「ま 古いから予算を活用する  
ずは静かな滑り出したっ のではなく、政策的に  
た」と振り返った。今後 合った事業目的を提示し  
は市場活性化に向けた設 てほしい」と予算確保に  
備投資に政府の予算を活 ついてアドバイスし、  
用する場が増えること 「市場の活性化という観  
を想定。整備から40年以 点から支援させてもら  
上経過した卸売市場が多 う」と政府としての立場

をあらためて強調した。  
金澤室長は卸売市場を  
含む食品流通をめぐる課  
題としてトラックドライ  
バーの働き方改革への対  
応、新型コロナウイルス  
感染症拡大予防のための  
現場の省人化、コールド  
チェーンの確立、トレー

サビリティーの確保やコ  
スト削減のためのデータ  
連携を挙げた。



具体例として北海道で  
卸売市場と荷主が連携  
し、産地主導で一貫した  
パレットの管理体制を構  
築したことを紹介。積み  
込み作業の短縮に成功し  
た一方、パレットの回収  
率の維持などが課題であ  
ることから「産地が中心  
となってやることではあ  
るが、荷受など消費地側  
の協力も求められる」と  
説明した。

この他、金澤室長は輸  
送コストの削減のため海  
上輸送を使ったモーダル  
シフトの検討が進んでい  
ることや、省人化・省力  
化に向けたRFID(非  
接触型児童認識技術の一  
種)など活用した荷受・  
分荷・出荷業務の自動化  
などの事例を紹介。「競  
争も生まれるがライバル  
がいるとともに、競争相  
手も同じ課題を抱えてい  
る。各企業自主的に取り  
組める部分については進  
めてほしい」とした。  
同フォーラムは27、28  
日に市場関係者向けの講  
演やインタビュー映像を  
放送。9月4日には事例  
研究セミナーを用意す  
る。参加無料。

市場活性化について  
「質的向上を期待」  
と金澤氏